

【2026年卒 就職活動TOPIC】 就職活動費用は平均8万2,277円。前年に比べ約2,000円減少

「交通費」「宿泊費」の平均金額は増加。
遠方への移動を伴う学生の費用負担が大きくなっている

株式会社インディードリクルートパートナーズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）のリサーチセンターは、学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

<解説：リサーチセンター 上席主任研究員 栗田 貴祥>



今回は、学生が就職活動に使用した金額についてレポートします。2026年卒学生の6月1日時点での「就職活動全体にかかった平均金額」は、8万2,277円となりました。前年に比べ約2,000円減少していますが、「交通費」「宿泊費」の項目を見ると平均金額は増加しています。地域別に「就職活動全体にかかった平均金額」について見ると、最も高い「北海道・東北」では前年よりも約4万4,000円増加した一方、最も低い「関東」では約1万7,000円減少しているなど、地域による差が大きい状況です。6月までに経験した各プロセスの参加形態では、最終面接にて「対面のみ」の割合が前年より増加しており、特に遠方への移動を伴う学生にとって、近年の物価高の影響も相まって就職活動における費用負担が大きくなっていることも考えられます。企業の皆さまには、今後も各プロセスごとにオンラインと対面を使い分けたり、遠方の学生には交通費の支給を検討したりするなど、学生の経済的な負担を考慮いただくような工夫をお願いいたします。学生との出会いの機会を広げるためにも、柔軟で配慮ある採用活動を行っていただくと幸いです。

就職活動全体にかかった平均金額（地域別）

大学生_全体（就職志望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生/数値回答）※大学院生除く（円）

	就職活動全体にかかった平均金額				差 (26年卒-25年卒)	
	2026年卒 (2025年6月1日時点)	2025年卒 (2024年6月12日時点)	2024年卒 (2023年6月12日時点)	2020年卒(参考) (2019年7月1日時点)		
全国	82,277	84,434	82,905	128,890	-2,157	
地域別	北海道・東北	155,817	111,717	88,332	140,861	44,100
	関東	61,372	78,455	75,726	117,374	-17,083
	中部	84,472	87,916	76,991	132,900	-3,444
	近畿	82,112	86,073	87,297	131,201	-3,961
	中国・四国*	103,052	80,692	115,165	139,967	22,360
	九州*	89,154	79,222	94,751	156,989	9,932

* 2026年卒、2025年卒の「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.indeedrecruit-partners.co.jp/support/form>

就職活動費用の内訳

「交通費」「宿泊費」「スキルアップ費用」などで平均金額が前年に比べ増加

- 「交通費」「宿泊費」「飲食費」「スキルアップ費用」で、2年連続で平均金額が増加。
- 「交通費」の平均金額を地域別で見ると、「関東」「近畿」では減少、「中部」では増加と地域によって異なる。

就職活動費用の内訳

大学生_全体（平均金額：就職志望者のうち各項目で「1円」以上使用した学生/数値回答）※大学院生除く

（使用率：就職志望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生/数値回答）

※項目ごとの平均額のため、各項目の合計は「就職活動全体にかかった平均金額」とは一致しない

（平均金額：円 使用率：% 使用率の差：ポイント）

		交通費	被服費	宿泊費	飲食費	書籍費	公務員試験対策費	スキルアップ費用
平均金額	2026年卒	25,899	31,690	24,856	7,266	4,106	97,434	28,345
	2025年卒	24,510	32,950	19,850	6,982	4,745	140,582	26,567
	2024年卒	21,312	36,463	18,544	5,783	4,046	124,893	23,431
	2020年卒(参考)	49,466	36,869	27,059	12,488	5,697	105,195	23,847
	26年卒-25年卒	1,389	-1,260	5,006	284	-639	-43,148	1,778
使用率	2026年卒	89.3	75.5	17.1	49.4	42.5	8.2	18.6
	2025年卒	92.2	78.7	14.5	55.1	46.0	7.9	19.8
	2024年卒	90.1	87.5	14.1	52.6	49.2	9.5	23.4
	2020年卒(参考)	98.2	86.6	20.5	87.3	63.1	10.9	28.7
	26年卒-25年卒	-2.9	-3.2	2.6	-5.7	-3.5	0.3	-1.2
平均金額のn数	2026年卒	589	498	112	326	280	54	122
	2025年卒	708	604	111	423	353	61	152
	2024年卒	882	857	138	515	482	93	229
	2020年卒(参考)	1,367	1,205	286	1,215	878	152	400

就職活動交通費の平均金額（地域別）

大学生_全体（就職志望者のうち交通費で「1円」以上使用した学生/数値回答）※大学院生除く

（円）

		就職活動交通費の平均金額				差 (26年卒-25年卒)
		2026年卒 (2025年6月1日時点)	2025年卒 (2024年6月12日時点)	2024年卒 (2023年6月12日時点)	2020年卒(参考) (2019年7月1日時点)	
全国		25,899	24,510	21,312	49,466	1,389
地域別	北海道・東北*	52,400	32,932	27,708	68,624	19,468
	関東	14,108	18,629	14,719	37,157	-4,521
	中部	29,831	25,319	21,116	49,593	4,512
	近畿	29,205	30,263	27,480	51,739	-1,058
	中国・四国*	31,203	31,703	28,457	70,990	-500
	九州*	38,936	26,666	32,968	79,383	12,270

*2026年卒、2025年卒の「北海道・東北」「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

各プロセスの希望参加形態

説明会ではオンラインでの実施希望が約4割、最終面接では対面での実施希望が約5割

- 各プロセスにおいて参加する形態を選ぶことができる場合、オンラインと対面のどちらを希望するかを聞くと、説明会は前年同様「オンラインでの実施を希望する」が41.0%で最も高い。
- 一次面接は「オンラインでの実施を希望する」と「どちらかというオンラインでの実施を希望する」の合計が68.2%と、対面よりもオンラインでの実施希望の方が高い。
- 最終面接は「対面での実施を希望する」が51.4%で最も高く、学生にとって重要な場面では対面を希望する割合が高い傾向。

各プロセスの希望参加形態

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答）※大学院生除く

説明会

	オンラインでの実施を希望する	どちらかというオンラインでの実施を希望する	どちらともいえない	どちらかという対面での実施を希望する	対面での実施を希望する	オンライン・計	対面・計
	(%)						
2026年卒	41.0	33.5	10.1	9.0	6.4	74.5	15.4
2025年卒	37.9	33.1	13.1	9.7	6.2	71.0	15.9

一次面接

	オンラインでの実施を希望する	どちらかというオンラインでの実施を希望する	どちらともいえない	どちらかという対面での実施を希望する	対面での実施を希望する	オンライン・計	対面・計
	(%)						
2026年卒	32.6	35.7	13.9	8.3	9.6	68.2	17.8
2025年卒	34.6	37.4	10.5	7.7	9.8	72.0	17.5

最終面接

	オンラインでの実施を希望する	どちらかというオンラインでの実施を希望する	どちらともいえない	どちらかという対面での実施を希望する	対面での実施を希望する	オンライン・計	対面・計
	(%)						
2026年卒	5.1	8.0	12.9	22.6	51.4	13.1	73.9
2025年卒	8.5	7.0	12.5	23.1	48.9	15.5	72.0

※2026年卒は6月1日時点、2025年卒は6月12日時点の数値

各プロセスの実際の参加形態

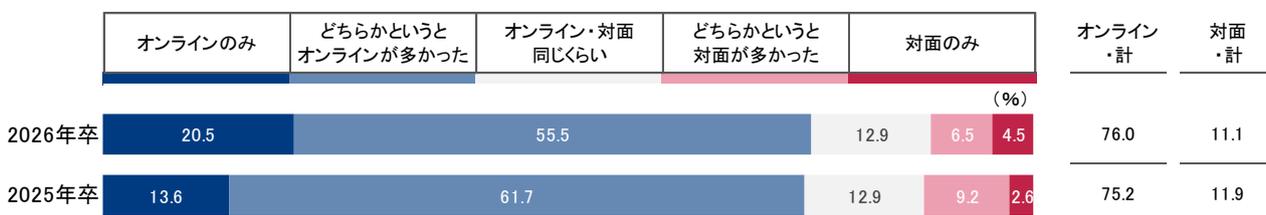
説明会と一次面接は「オンラインのみ」が増加、最終面接では「対面のみ」が増加

- 続いて、6月までに実際に経験した各プロセスの参加形態について聞いたところ、説明会と一次面接は「オンラインのみ」の割合が前年より増加。「どちらかというオンラインが多かった」と合わせた「オンライン・計」は約8割。
- 最終面接は「対面のみ」が56.1%で最も高く、前年より8.3ポイント増加。

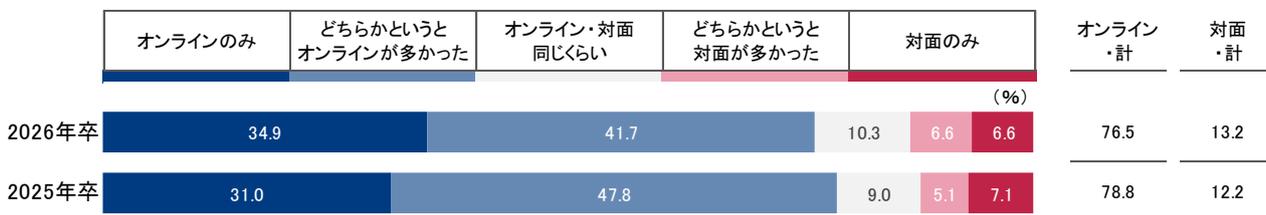
6月までに経験した参加形態

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答）※大学院生除く

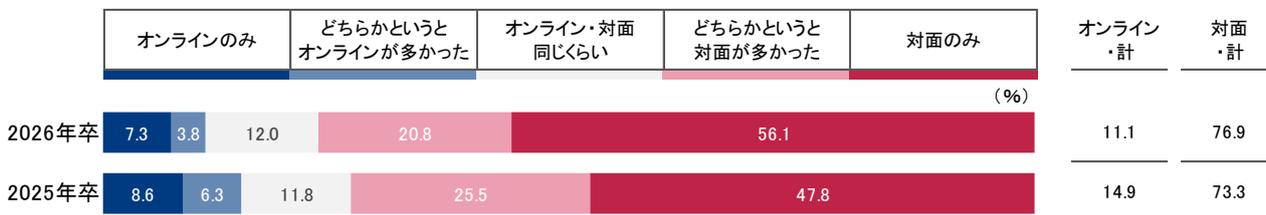
説明会



一次面接



最終面接



※2026年卒は6月1日時点、2025年卒は6月12日時点の数値

地域別に見る各プロセスの実際の参加形態

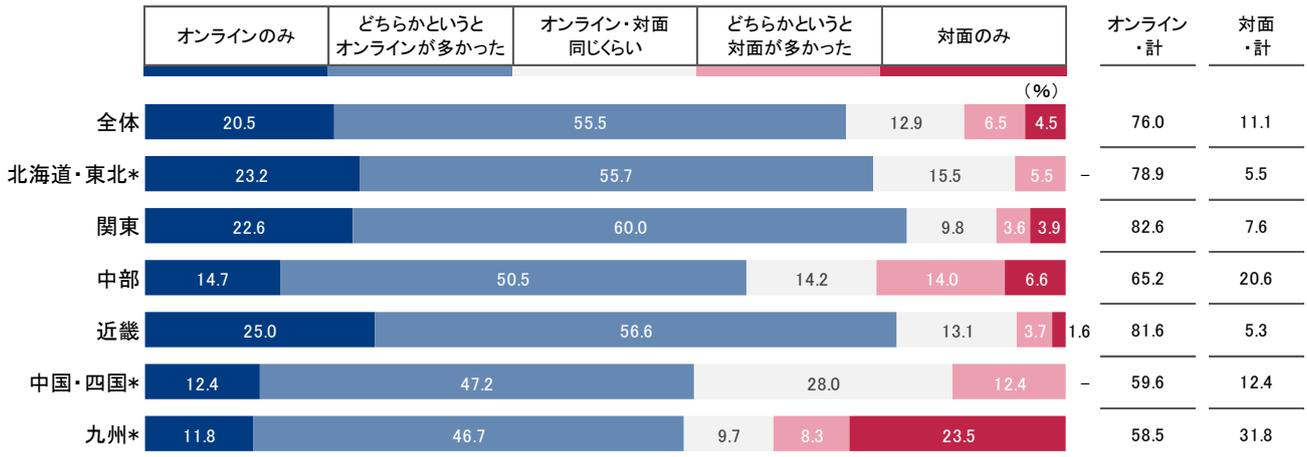
各プロセスのオンラインと対面の参加状況は、地域によって異なる

- 各プロセスの実際の参加形態について学生の居住地域別に見ると、各プロセスごとにオンラインと対面の参加状況に違いが見られた。

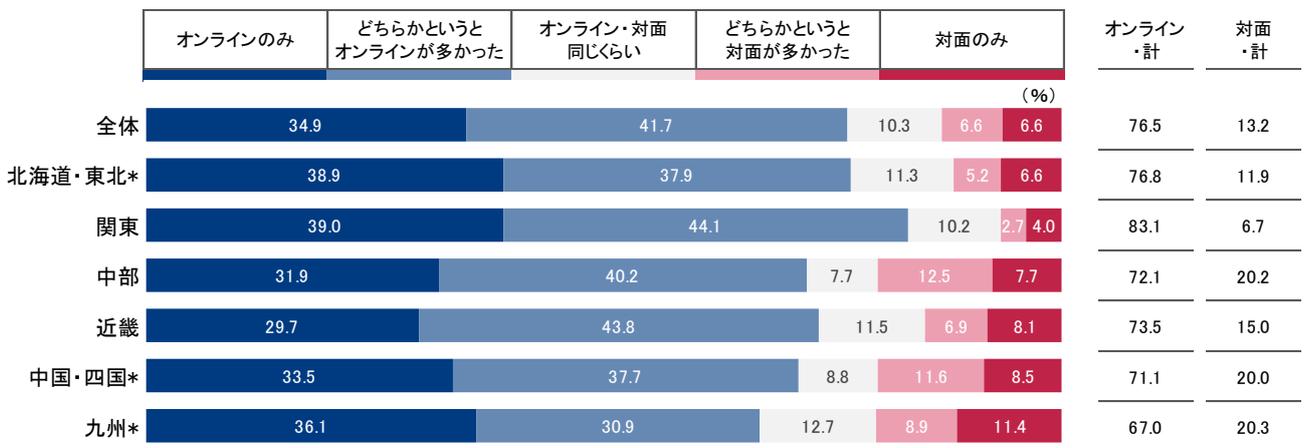
6月1日までに経験した参加形態（地域別）

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答）※大学院生除く

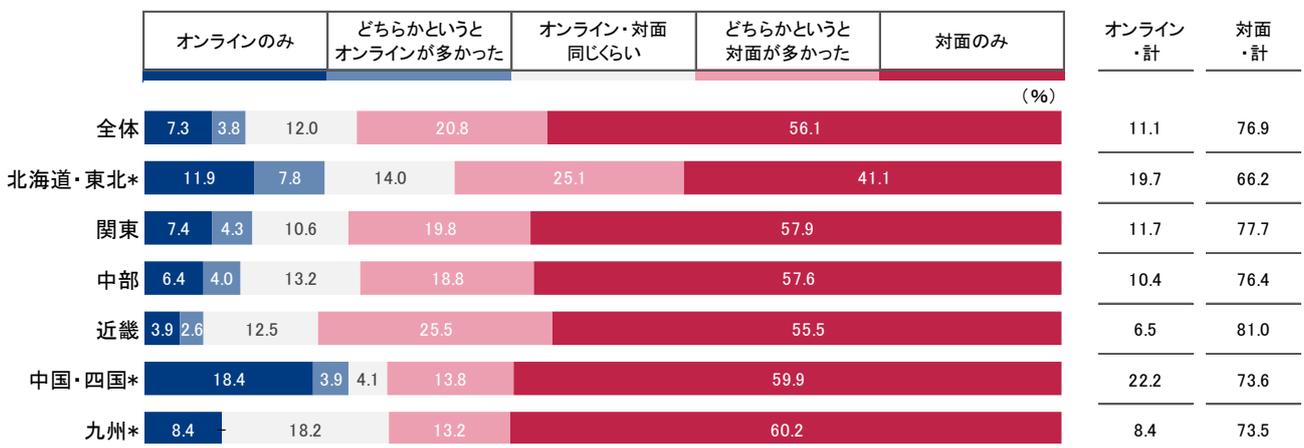
説明会



一次面接



最終面接



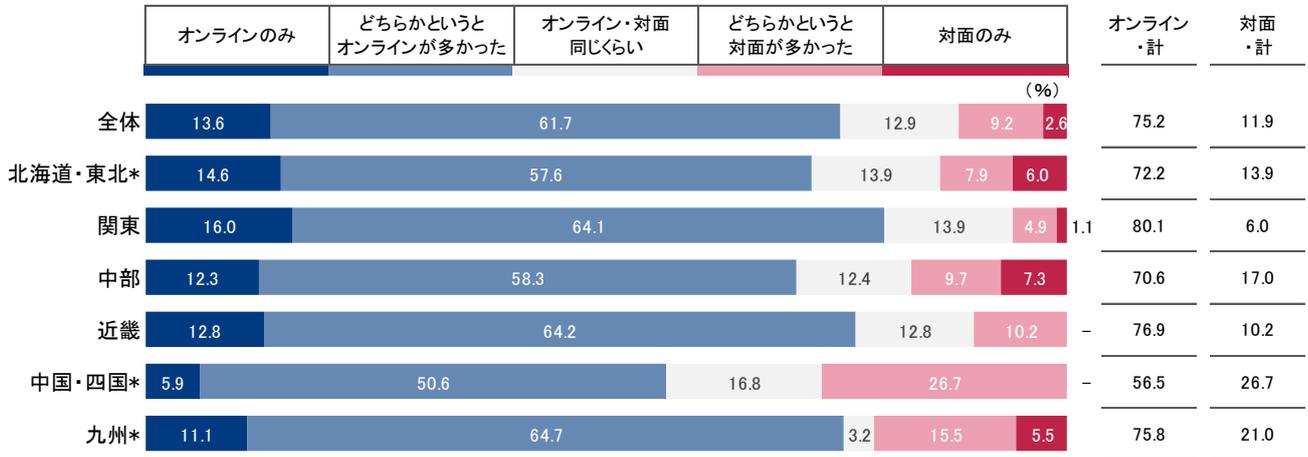
*「説明会」「一次面接」「最終面接」の「北海道・東北」「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

(参考) 地域別に見る各プロセスの実際の参加形態 (2025年卒)

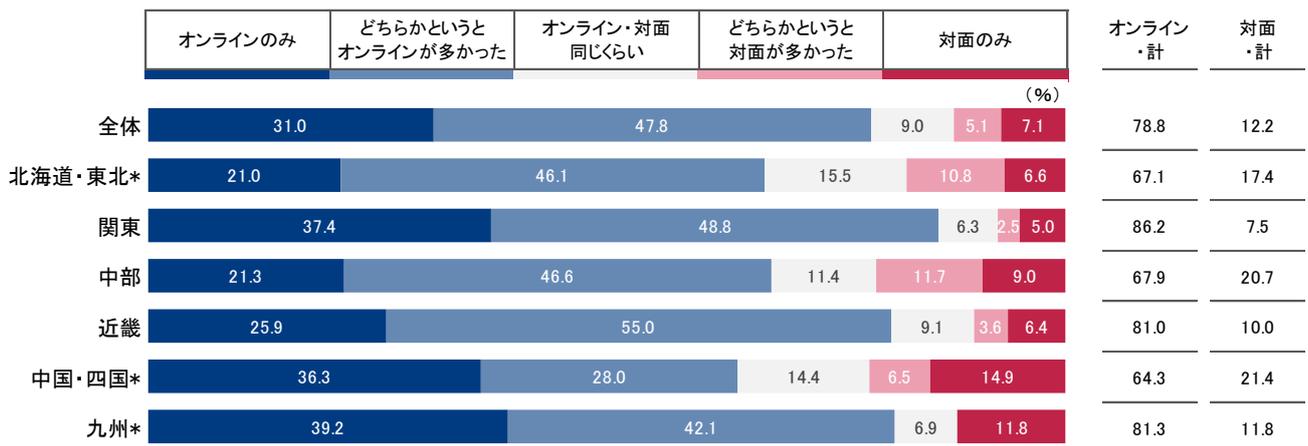
2024年6月12日までに経験した参加形態 (地域別・2025年卒)

大学生_全体 (就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答) ※大学院生除く

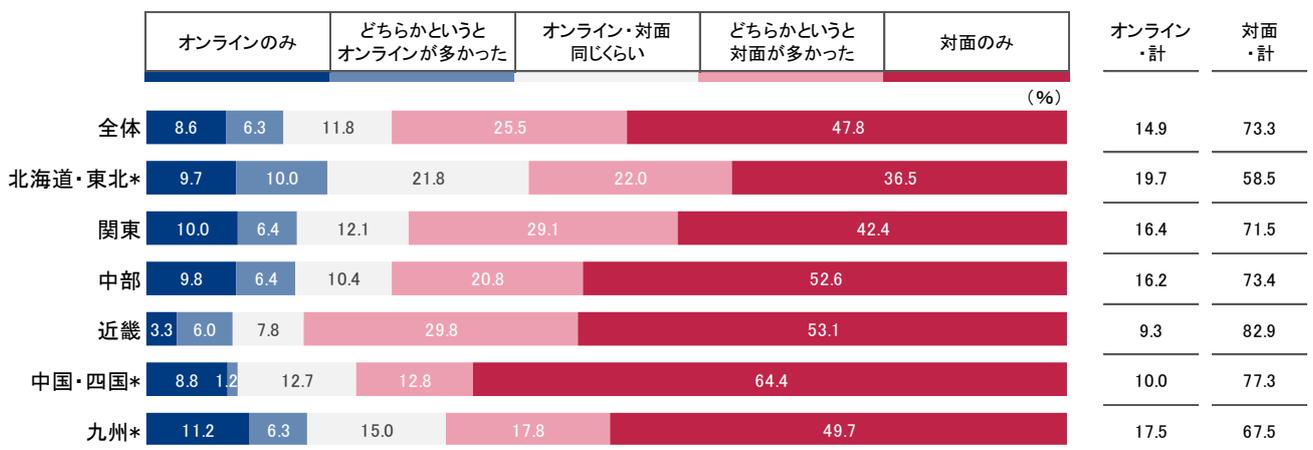
説明会



一次面接



最終面接



* 「説明会」「一次面接」「最終面接」の「北海道・東北」「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

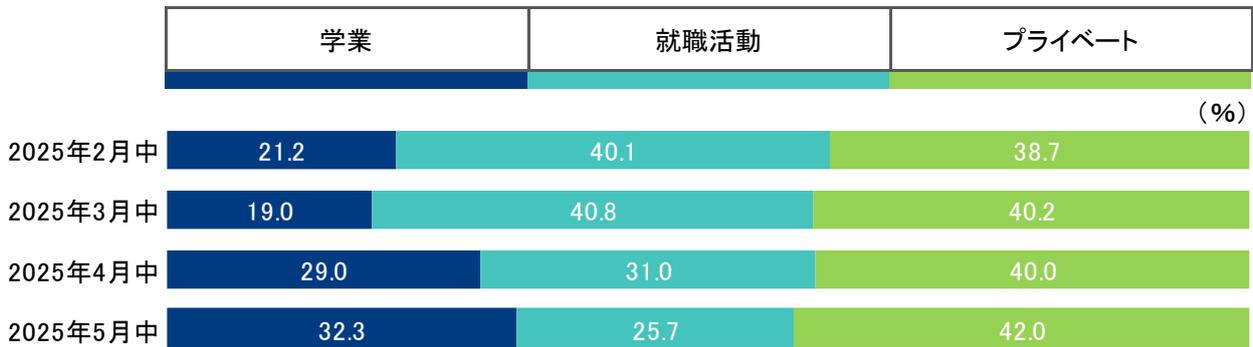
前年・前々年に比べ、2月中～5月中の「就職活動」が占める割合は減少

- 2月中～5月中の「学業」「就職活動」「プライベート」時間の割合を見ると、2026年卒においては、2025年卒・2024年卒と比べ、全ての月で「就職活動」が占める割合が減少。

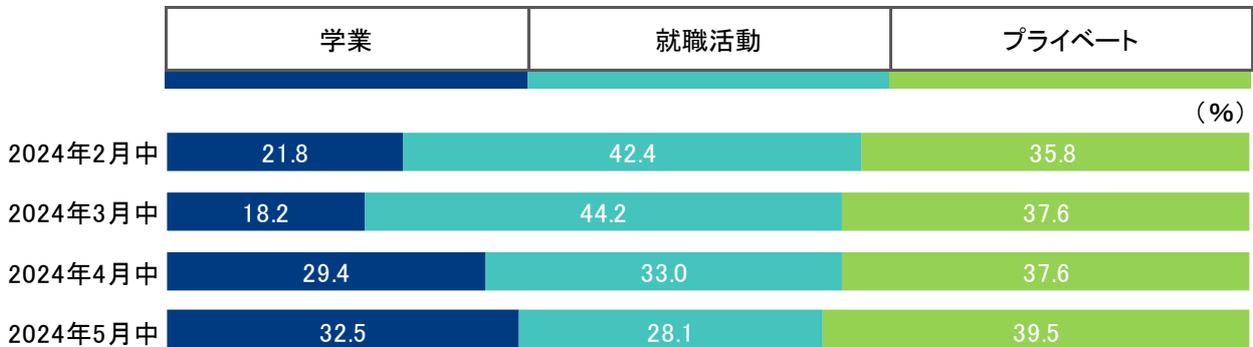
各月の「学業」「就職活動」「プライベート」時間の割合

大学生_全体（就職志望者/数値回答）※大学院生除く

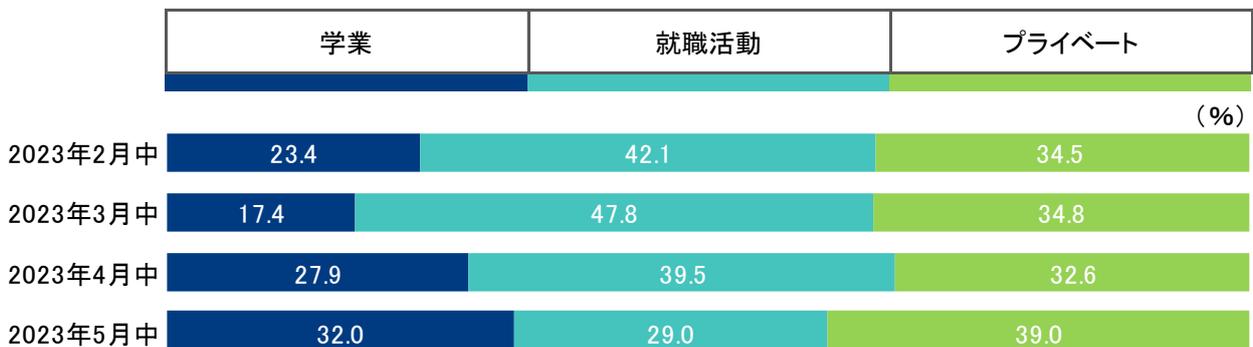
2026年卒



2025年卒



2024年卒



※各年の6月1日時点までの調査結果から算出

調査概要

調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法 | インターネット調査

集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2026年卒：2025年6月1日時点

調査対象 | 2026年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2026』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生5,500人（内訳：大学生4,434人/大学院生1,066人）

調査期間 | 2025年6月1日～6月4日 集計対象 | 大学生 820人/大学院生 302人

※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2026/>

2025年卒：2024年6月12日時点

調査対象 | 2025年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2025』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生3,929人（内訳：大学生3,070人/大学院生859人）

調査期間 | 2024年6月12日～6月18日 集計対象 | 大学生 922人/大学院生 376人

2024年卒：2023年6月12日時点

調査対象 | 2024年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2024』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,567人（内訳：大学生3,574人/大学院生993人）

調査期間 | 2023年6月12日～6月19日 集計対象 | 大学生 1,165人/大学院生 437人

2020年卒：2019年7月1日時点

調査対象 | 2020年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2020』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生6,395人（内訳：大学生5,267人/大学院生1,128人）

調査期間 | 2019年7月1日～7月8日 集計対象 | 大学生 1,584人/大学院生 503人

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路の全て）」の回答状況を基に、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者＋志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- 「内定率」は内定・内々定を含む。政府の要請における正式な内定日は10月1日以降である
- %を表示する際に小数第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- 「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- 無回答項目はグラフ・数表内で「-」と表記
- 本資料での「前年」とは、「2025年卒」を示す

株式会社インディードリクルートパートナーズについて

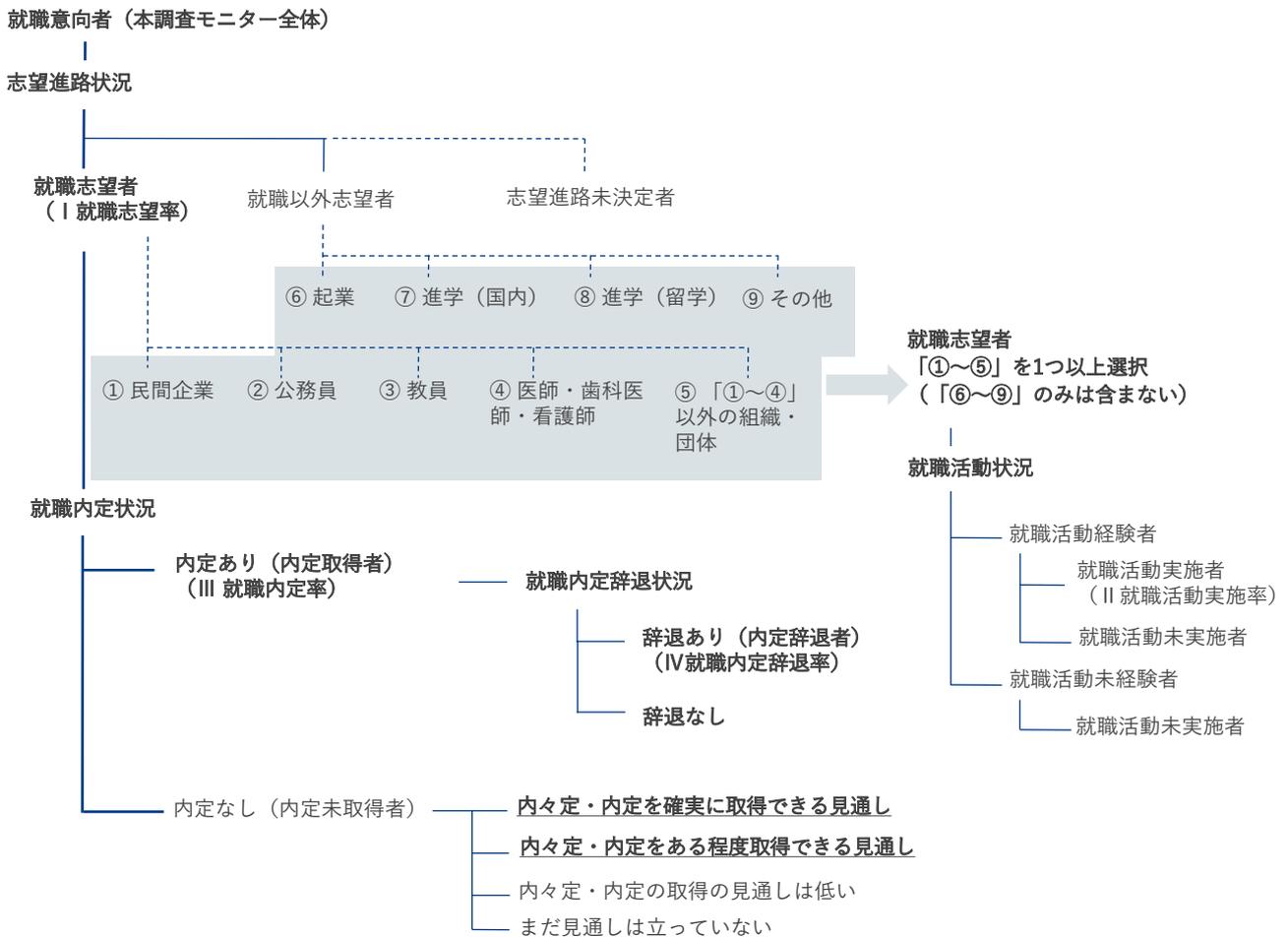
株式会社インディードリクルートパートナーズは、リクルートグループのグループ会社として、人材メディア事業の販売代理店機能、人材紹介事業等を担っております。当社は、リクルートグループの事業戦略である「Simplify Hiring」の推進を加速するため、HRテクノロジーSBUの一部として2025年4月1日より運営を開始いたしました。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

インディードリクルートパートナーズ：<https://www.indeedrecruit-partners.co.jp/>

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法>

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

<用語の定義>

● 就職意向者	=	当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
● 就職志望者	=	当月、就職を志望している者
● 就職活動実施者	=	当月、就職活動を実施している者 (※)
● 就職活動経験者	=	当月までに就職活動の経験がある者
● 就職内定取得者	=	当月までに内定 (内々定) の取得経験がある者
● 就職内定未取得者	=	当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
● 進路確定者	=	当月、進路が確定している者 進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
● 就職内定辞退者	=	当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

≪地域区分の内訳≫

○ 北海道・東北	=	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
○ 関東	=	東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
○ 中部	=	静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
○ 近畿	=	京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
○ 中国・四国	=	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
○ 九州	=	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者